

## 第14回 TCU 横浜祭カーボン・オフセット実施結果

### I. 横浜祭の概要

項目	内容	備考
開催日時	2010年6月5日(土) 12:00~19:00 2014年6月6日(日) 10:00~19:00	6月は環境月間にあたるので、その点配慮されている。
開催場所	東京都市大学環境学部 横浜キャンパス	神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1
来場者数	11743人	総来場者数として、学園祭スタッフや関係するスタッフの総人数としてカウントしている。
構成組織	学園祭実行委員会 学園祭運営委員会	実行委員会と運営委員会が組織として存在する。 運営委員会が実行委員会の下部組織に当たる。 実行委員会は予算の認証、実行の権限をもち、運営委員会は当日の運営・事前準備を行なう。
準備期間	1年(学園祭自体を指す)	特に動ける準備期間としては春休み期間の2ヶ月間

## II. 横浜祭カーボン・オフセットの概要

調査対象日時	2014年6月4日 16:45～6月7日 14:00 まで 学園祭実行委員会と大学との取り決めにより、大学貸し出し時間と大学返還時間。(4日は準備日、7日は片付け日)
カーボン・オフセットブース数	2ヶ所
カーボン・オフセットブース来場者数	2ヶ所合計 591 人 (来場者総数の約 5%)
13回 TCU 横浜祭からの変更点	カーボンフットプリント (オフセット証書) の導入 植林活動のための飛行機代を評価範囲に含める ブースで使用するパソコン、プリンタの電力を太陽光パネルで賄う

CO <sub>2</sub> 排出量算定結果	⇒	39.69 t
植林本数	⇒	256 本
植林範囲	⇒	0.128ha
募金合計金額	⇒	144,042 円
オフセット金額合計	⇒	122,360 円
次年度への繰越金	⇒	21,682 円

カラマツ 256 本による

二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を 20 年間かけて全量オフセット

### CO2 排出量と割合

中項目	総排出量 (kg)	排出量割合
電力	11546.40	29.1%
水道	290.35	0.7%
都市ガス	2232.43	5.6%
ガソリン車	987.46	2.5%
ディーゼル車	1536.73	3.9%
鉄道	4128.23	10.4%
バス	46.83	0.1%
ペットボトル	58.53	0.1%
アルミ缶	0.40	0.0%
スチール缶	9.26	0.0%
ビン	7.96	0.0%
模擬店食品	1871.83	4.7%
プロパンガス	538.15	1.4%
レンタル品	138.58	0.3%
消耗品等 (全体)	1491.73	3.8%
企画発展部	598.06	1.5%
企画開発部	1422.64	3.6%
研究室企画・展示	612.44	1.5%
印刷	2227.99	5.6%
広報	884.51	2.2%
物品管理	2061.24	5.2%
協賛品	5296.95	13.3%
弁当食材	1603.83	4.0%
弁当容器	20.31	0.1%
可燃物	73.83	0.2%
不燃物	2.31	0.0%

#### 留意点

- 1) 今回の算定で用いた原単位は、原則として日本国内の平均的な、あるいは一般的と考えられる数値を用いている。
- 2) 環境省ガイドラインより、CO2 排出量の値は有効数字 2 桁としている。